

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|---|-------------------------------------|--|-------------------------------|---|-----|--------|---------|
| 52326 | 社会的養護Ⅱ The Nature of Social Care | 成瀬眞佐子 | 施設職員の経験から施設実習がスムーズに行えるよう指導する。 | 専門 | 2 | 選択 | 2年前期 |
| 科目の概要 | | | | | | | |
| 多様な問題を抱えたこども達の児童福祉施設における養護の基本理念を理解し、具体的な援助内容、方法について演習を通して理解を深めると同時に施設の保育者に求められる倫理・資質を学ぶ。 施設実習において、施設の概要を知り、利用者の特性・特徴を学んで臨むこととする。 | | | | | | | |
| 学修内容 | | | | 到達目標 | | | |
| ① 社会的養護の理念と歴史の変遷 ② 児童の権利擁護と児童家庭福祉 ③ 社会的養護の制度, 実施体系及び社会的養護の専門職・実施者 ④ 施設養護の基本原則と施設養護の実際(日常生活支援・治療的支援・自立支援) ⑤ 社会的養護の現状と課題 | | | | ① 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について説明することができる。 ② 社会的養護と児童福祉の関連性及び児童の権利擁護について理解し、記述することができる。 ③ 社会的養護の制度や実施体系について理解し、施設実習に臨み、応用・反応することができる。 ④ 社会的養護における児童の人権擁護及び自立支援について理解し、実習において配慮することができる。 ⑤ 社会的養護の現状と課題について理解し自分の考えを述べる。 | | | |
| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 | | | | | |
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 自分の役割を明確にして課題に取り組むことができる | | | | | |
| | 働きかけ力 | | | | | | |
| | 実行力 | 講義終了後、その日のうちに必ず復習を実施することができる | | | | | |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | それぞれの社会的養護の支援について知識・技術を確認し、グループごとに発表することができる | | | | | |
| | 計画力 | グループの課題を明らかにしグループワークを進めることができる | | | | | |
| | 創造力 | 発表に向けて、自分達のテーマに合わせた効果的な計画作成をおこなうことができる | | | | | |
| チームで働く力 | 発信力 | 支援計画に基づき分かりやすく発表するとともに、対象を理解して伝えることができる | | | | | |
| | 傾聴力 | グループワークや発表時、内容確認や質問を行い正確に理解するとともに話しやすい状況をつくることことができる | | | | | |
| | 柔軟性 | | | | | | |
| | 情況把握力 | | | | | | |
| | 規律性 | 遅刻、無断欠席をしない。授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 | | | | | |
| | ストレスコントロール力 | | | | | | |
| テキスト及び参考文献 | | | | | | | |
| 適宜プリントを配布する。 一年生で使用していた「現代の保育と社会的養護Ⅰ」を参考に使用する。 | | | | | | | |
| 他科目との関連、資格との関連 | | | | | | | |
| 他の科目との関連：社会的養護Ⅰ・子ども家庭福祉・社会福祉・施設実習Ⅰ・Ⅱ・施設実習指導Ⅰ・Ⅱ 資格との関係：保育士（准学校心理士） | | | | | | | |
| 学修上の助言 | | | | 受講生とのルール | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 授業中の私語は慎み積極的に授業に参加する 配布プリントや資料は講義ノートに合わせてまとめ、内容を整理しておく | | | | <ul style="list-style-type: none"> 積極的なグループワーク、ディスカッションを行うことによりスムーズな発表ができるよう準備する。 社会的養護の学習内容を確認するとともに新聞等での児童家庭問題虐待問題に関心を持つ。 | | | |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | | | |
|-----------------------|--------------|--------------------|-------|------|---------------------------------|---|---|--|
| 学修成果 | 学期末試験 | 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験 | 60 | ① | ✓ | ①社会的養護としての施設養護の実態を知り種類別施設の内容を理解しているか評価する。 ②社会的養護の実際を理解し、具体的な自立支援計画立案や個々人に応じた支援ができるかについて評価する。 ③自立支援について理解することができる。 ④個々人に応じた自立支援計画を立案し具体的な支援に繋げることができるか、自分の考えや対応方法を考える。 | | |
| | | | | ② | ✓ | | | |
| | | | | ③ | ✓ | | | |
| | | | | ④ | ✓ | | | |
| | | | | ⑤ | | | | |
| | 平常評価 | 小テスト | | 20 | ① | ✓ | ①各時点までの授業内容が、理解できているか確認する。 ②自分の考えや対応方法をまとめる。 | |
| | | | | | ② | ✓ | | |
| | | | | | ③ | | | |
| | | | | | ④ | | | |
| | | | | | ⑤ | | | |
| | | レポート | | | 0 | ① | | |
| | | | | | | ② | | |
| | | | | | | ③ | | |
| | | | | | | ④ | | |
| | | | | | | ⑤ | | |
| 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | | | 10 | ① | ✓ | ①自立支援計画立案及び施設別、支援別事例検討をグループワークで実施し発表を行う。 ②積極的なグループワーク、ディスカッション参加と発表について社会人基礎力をいかに発揮するかを評価する。 ③グループワーク後に自身の積極的なグループ活動の参加や発表等についてレポートによる自己評価を行い、グループワークの気づきを確認する。 | | |
| | | | | ② | ✓ | | | |
| | | | | ③ | ✓ | | | |
| | | | | ④ | | | | |
| | | | | ⑤ | | | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | | 10 | ① | ✓ | （主体性）指示がなくても課題に取り組むことができる（実行力）自立支援計画、社会的養護の支援方法及びグループワークについて理解することができる。 （課題発見力）自分の役割を明確にして課題に取り組むことができる。 （創造力）自分達のテーマに合わせた効果的な計画作成をおこなうことができる（発信力）発表することにより自分の役割を果たすことができる。 （傾聴力）発表を聞き評価することにより、自分の教育やグループワークを振り返る事が出来る。 （規律性）遅刻、無断欠席をしない。授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 | | |
| | | | | ② | ✓ | | | |
| | | | | ③ | ✓ | | | |
| | | | | ④ | ✓ | | | |
| | | | | ⑤ | ✓ | | | |
| 総合評価割合 | | | 100 | | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|--|--|
| 達成目標について実践できるとともに筆記試験においての知識、グループワークと発表、授業での積極的発言の全て満足できる評価が得られる。 つまり、社会的養護の内容を理解したうえで個々人に応じた自立支援計画を立案し具体的な自立支援について理解でき、筆記試験において理解できていることが基準となる（総合評価80点以上90点未満）。A以上の能力を有しており、筆記試験において説明できることが基準となる（総合評価90点以上）をSとする。 | 達成目標について実践できるとともに筆記試験、小テストにおいての知識、グループワークと発表、授業での積極的発言のある程度満足できる評価が得られることが基準となる。（総合評価70点以上80点未満）。Bの評価まで、理解が達していない場合（総合評価60点以上70点未満）をCとする。つまり、社会的養護の仕組みを理解するとともに具体的な援助方法能力を有する者とする。 |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|---|--|--|--|-------|--|
| 1 | 児童養護の概念 (1)家庭や社会の役割について (2)こどもの権利と社会的養護について基本原則を学ぶ | 講義 | こどもにとっての家庭の役割と機能について理解し、こどもの権利について考えを述べることができる。自分の考えを積極的に発言することができる。 | 予習 教科書にて学習範囲を確認する。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 2 | 児童養護の概念 (3)児童養護の歴史の変遷について学ぶ ・施設実習の心得について学ぶ | 講義 ・グループ討議後 フィードバックとして発表する | わが国における児童養護の歴史と先駆者の取り組みについて基本的な流れを理解することができる。自分の考えを積極的に発言することができる。 | 復習:採用試験対策として児童養護における歴史の変遷について年表を復習すること。 予習:教科書にて学修範囲を確認する。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 3 | 社会的養護の制度と実施体系 (1)社会的養護の制度と法体系について学ぶ | 講義 | 社会的養護に関連する法律について基本的な目的・内容について述べるができる。自分の考えを積極的に発言することができる。 | 復習:社会的養護に関連する法律の目的、内容について年代を追いながら確認する。 予習:教科書にて学修範囲を確認する。 | 180 | 主体性 実行力 計画力 創造力 発信力 規律性 |
| 4 | 社会的養護の制度と実施体系 (2)社会的養護の仕組みと実施体系について学ぶ | ・講義 ・DVD視聴 ・フィードバックとして個人ワークを完成させる。 | 児童養護サービスを提 供する場についての理解し、施設ごとの目的及び特徴を記述することができる。自分の考えを積極的に発言することができる。 | 復習:法律に基づいた施設ごとの目的や特徴について自分でワークシートを完成させる。 予習:教科書にて学修範囲を確認する。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 規律性 |
| 5 | 社会的養護の制度と実施体系 (3)家庭的養護と施設養護の違い及び特徴について学ぶ ・施設実習の心得について学ぶ | ・ワーク発表 ・講義 ・DVD視聴 | 施設養護と家庭養護について理解するとともに施設養護の意味や特質、機能について理解し述べることができる。自分の考えを積極的に発言することができる。 | 復習:ワークシートで不十分な項目について再度確認し、施設ごとの特徴を理解する。 予習:教科書にて学修範囲を確認する。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 6 | 社会的養護の制度と実施体系 (4)社会的養護の専門職・実施者について学ぶ | ・個人ワーク ・講義 ・フィードバックとして小テストを行う。 | 社会的養護に関わる専門職の名称、役割等について法的根拠とともに記述することができる。自分の考えを積極的に発言することができる。 | 復習:社会的養護に関わる専門職の名称、役割等について自分でワークシートを完成させる。 予習:教科書にて学修範囲を確認する。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 規律性 |
| 7 | 家庭養護の本質と実際について学ぶ ・施設実習の心得について学ぶ | ・ワーク発表 ・講義・DVD視聴 | 家庭養護に関する制度について学び家庭養護の原理と特徴について述べるができる。自分の考えを積極的に発言することができる。 | 復習:ワークシートで不十分な項目について再度確認し、専門職の名称、役割について理解する。 予習:教科書にて学修範囲を確認する。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 8 | 施設養護の種類と内容 (1)養護系施設について学ぶ ・施設実習の心得について学ぶ | ・個人ワーク ・講義・DVD視聴 | 養護系施設についてそれぞれの特徴を理解するとともに援助者としての支援について記述することができる。自分の考えを積極的に発言することができる。 | 復習:養護系施設についてそれぞれの特徴について自分でワークシートを完成させる。 予習:教科書にて学修範囲を確認する。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|--|--|---|---|-------|--|
| 9 | 施設養護の種類と内容 (2) 障害系施設について学ぶ ・施設実習の心得について学ぶ | ・個人ワーク ・講義 ・DVD視聴 | 障害系施設についてそれぞれの特徴を理解するとともに援助者としての支援について記述することができる。自分の考えを積極的に発言することができる。 | 復習:障害系施設についてそれぞれの特徴について自分でワークシートを完成させる。 予習:教科書にて学修範囲を確認する。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 10 | 施設養護の種類と内容 (3) 治療・育成系施設について学ぶ | ・個人ワーク ・講義 ・DVD視聴 ・フィードバックの小テスト | 治療・育成系施設についてそれぞれの特徴を理解するとともに援助者としての支援について記述することができる。自分の考えを積極的に発言することができる。 | 復習:治療・育成系施設についてそれぞれの特徴について自分でワークシートを完成させる。 予習:教科書にて学修範囲を確認する。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 規律性 |
| 11 | 施設養護の実際 (1) 日常生活・自立援助について学ぶ | ・ワーク発表 ・講義 ・DVD視聴 | 施設養護の実際として日常生活・自立援助における具体的な取り組みについて述べることができる。自分の考えを積極的に発言することができる。 | 復習:ワークシートで十分な項目について再度確認し、施設ごとの特徴について配置基準も含めて理解する。 予習:教科書にて学修範囲を確認する。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 12 | 施設養護の実際 (2) 支援的援助について学ぶ ・施設実習の心得について学ぶ | ・講義 ・DVD視聴 | 施設養護の実際として支援的援助における具体的な取り組みについて述べるができる。自分の考えを積極的に発言することができる。 | 復習:社会的養護における関連機関について種類・役割・特徴を理解するため資料を確認する。 予習:教科書にて学修範囲を確認する。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性 |
| 13 | 施設養護の実際 (3) 関係調整について学ぶ | ・講義 ・DVD視聴 ・グループ討議後フィードバックとして発表する | 施設養護の実際として関連機関との関係調整における具体的な取り組みについて述べるができる。自分の考えを積極的に発言することができる。 | 復習:社会的養護における関連機関について種類・役割・特徴を理解するため資料を確認する。 予習:教科書にて学修範囲を確認する。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 14 | 社会的養護の現状と課題 (1) 施設等の運営管理について学ぶ (2) 専門的援助技術について学ぶ | ・講義 ・DVD視聴 | 援助者としての理念、資質、専門的援助技術について述べるができる。自分の考えを積極的に発言することができる。 | 復習:社会的養護における関連機関について種類・役割・特徴を理解するため資料を確認する。 予習:教科書にて学修範囲を確認する。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性 |
| 15 | 社会的養護の現状と課題 (3) 社会的養護と地域福祉について及び今後の課題について学ぶ | ・講義 ・DVD視聴 ・フィードバックの小テスト | 今後の課題と対策について理解し自分の考えを述べることができる。自分の考えを積極的に発言することができる。 | 復習:社会的養護における関連機関について種類・役割・特徴を理解するため資料を確認する。 予習:教科書にて学修範囲を確認する。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力